

平成 14 年 5 月 2 日

各 位

千葉県松戸市松飛台 286 番地の 23
 株式会社精工技研
 代表取締役社長 上野 昌利
 (コード番号：6834)
 問い合わせ先
 経営企画室 斎藤 祐司
 047-388-6401

平成 14 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13 年 11 月 13 日の業績予想修正時に公表しました平成 14 年 3 月期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 14 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

(1) 単独業績予想値 (単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,285	113	136
今 回 修 正 予 想 (B)	4,247	201	768
増 減 額 (B - A)	37	88	631
増 減 率 (%)	0.9	77.9	464.0

(2) 連結業績予想値 (単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,263	0	252
今 回 修 正 予 想 (B)	4,046	23	942
増 減 額 (B - A)	217	23	690
増 減 率 (%)	5.1	-	273.8

(上記予想値における金額については表示単位未満を切捨て、比率については四捨五入しております。)

2. 修正の理由

当期の光通信業界は、北米を中心とした通信関連産業の設備投資の落ち込みを背景に大きく需要が減退し、販売の不振が継続することとなりました。

こうした経営環境のもとで当社は、役員報酬の一部削減、新規の設備投資の抑制や各種の経費削減、人員の適正化等に取り組んでまいりました。その結果、平成13年11月13日時点で見込んだ業績予想に対し売上高はわずかに下回るものの、経常利益においては若干予想を上回る数値を見込んでおります。

しかしながら、在庫の評価額の見直しに伴う評価損に加え、有価証券の時価の下落に関わる評価損を特別損失に計上することとし、さらに繰延税金資産の取崩額を併せて計上することにより、当期純損失は大幅に拡大する見込みとなりました。

これを受け、役員報酬に関しては、当期期中より10%~20%の減額としてまいりましたが、平成14年4月より30%~50%の減額としております。また、当期の業績に対応する役員賞与の計上は見送ることといたします。

今後におきましては、平成14年4月よりスタートしました新組織体制を機能させることにより、早期の業績回復を実現いたす所存であります。

なお、当期の利益配当金につきましては、安定した配当を維持する観点から別途積立金を取り崩した上で、従来予想のとおり1株につき30円とさせていただく予定です。

以 上